



医薬品開発規制科学講座 准教授

原 梓

ハラ アズサ

博士 (医療薬学)

Associate Professor
Division of Drug Development and
Regulatory Science

HARA Azusa

Ph.D. in Clinical Pharmacy

疫学 / 薬剤疫学 / 高血圧 / がん

Epidemiology / Pharmacoepidemiology
/ Hypertension / Cancer

研究概要

現代の日本は、高齢化や循環器疾患やがんの増大など様々な課題に直面しています。将来をより豊かで健やかな社会にするためには、国民一人一人の疾病予防の実践が必要と考えられます。循環器疾患やがんなどの疾病をどのように予防していくことができるかを明らかにするためには、疫学研究が有用です。

疫学とは「特定の人間集団に起こっている健康に関する事象を、確率・統計を主義に用いて客観的に示す科学研究」であり、住民や患者の集団を長期間観察することで、科学的に疾病の原因や、関連する因子を明らかにすることができます。私は、循環器疾患やがんなどの疾病を対象とした疫学研究を行っています。また、薬の使用とその有効性や安全性との関連を評価する薬剤疫学研究にも取り組んでいます。

例えば、岩手県花巻市大迫町の地域住民の方を対象とした「大迫研究」は、1986年に開始された長期前向きコホート研究で、家庭血圧を用いた世界初の住民ベースの疫学研究という特色を持っており、医療環境下の血圧と比較して、非医療環境下血圧(家庭血圧・自由行動下血圧)が将来の脳心血管疾患をより予測することを明らかにしてきました。私は特に高血圧性臓器障害に対して、非医療環境下血圧や様々な生活習慣がどのように影響を及ぼすか検討を行っています。

その他、日本各地の地域住民を対象とした、我が国を代表する住民コホート「多目的コホート研究(JPHC研究)」や「次世代多目的コホート研究(JPHC-NEXT研究)」、ヨーロッパにおけるコホート研究「FLEMINGHO研究(ベルギー)」、「Rotterdam研究(オランダ)」に参画し、がんや循環器疾患等の予防法の確立に向けたエビデンス構築を行っています。

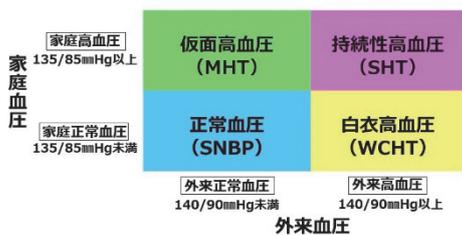
Epidemiology is the study of the distribution and determinants of health-related states or events (including disease), and the application of this study to the control of diseases and other health problems (WHO; <http://www.who.int/topics/epidemiology>). I focus on Cardiovascular and Cancer Epidemiology and Pharmacoepidemiology.

As a collaborating researcher of large population studies in Japan (Ohasama study, JPHC study, and JPHC-NEXT study), in Belgium (The FLEMINGHO study), and in The Netherlands (The Rotterdam study), I contribute to the construction of evidence-based public health approaches to prevent cancer and cardiovascular events.

主な論文

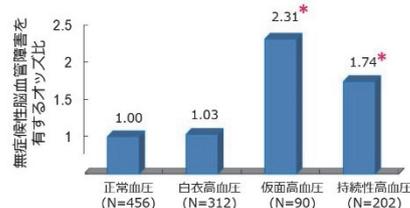
1. Wei FF, Hara A, et al. The risk of nephrolithiasis is causally related to inactive matrix Gla protein, a marker of vitamin K status: a Mendelian randomization study in a Flemish population. *Nephrol Dial Transplant.* 2018;33:514-522.
2. Staessen JA, Hara A, et al. Blood Pressure Measurement Anno 2016. *Am J Hypertens.* 2017;30:453-463.
3. Hara A, et al. Incidence of nephrolithiasis in relation to environmental exposure to lead and cadmium in a population study. *Environ Res.* 2016;145:1-8.

血圧の分類



高血圧治療ガイドライン2019

血圧群と無症候性脳血管障害との関連



☆ 調整項目: 年齢、性別、BMI、喫煙歴、飲酒歴、降圧薬服用、脳心血管疾患既往歴、心房細動脈性症、高脂血症既往歴、糖尿病既往歴
☆ 検定: * (p<0.05) vs. 正常血圧群

Hara A, et al. *J Hypertens.* 2009